

編集後記

令和7年度(2025年)第35号となる病院年報をお届けできることを、大変嬉しく思います。多忙な業務のなかで執筆にご協力いただいた職員の皆様、そして日頃より当院の医療活動を支えてくださっている地域の医療機関ならびに関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

2025年度は、医療提供体制の持続可能性が改めて問われる一年となりました。医師の働き方改革への対応や医療人材の確保、医療ニーズの高度化・多様化など、医療機関を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような状況のなかにおいても、患者様一人ひとりにとって安全で安心できる医療を提供するという医療の本質は変わることはありません。当院では、患者様やご家族の思いに耳を傾けながら、信頼される医療の提供に努めてまいりました。

当院は地域における高度急性期医療を担う基幹病院として、多くの救急患者を受け入れるとともに、周産期医療やがん診療など専門性の高い医療を提供しています。その結果、2025年度も病床稼働率は高い水準で推移し、地域医療を支える役割を果たすことができました。

また、本年度は地域医療連携推進法人が設立され、地域の医療機関が連携しながら医療資源を活かしていく新たな体制が整いました。急性期医療を担う当院にとって地域との連携は不可欠であり、患者様が住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、関係機関との協力をさらに深めてまいります。

さらに、社会的課題への取り組みとして「赤ちゃんいのちのバトン」設置に向けたプロジェクトも始動しました。さまざまな事情を抱える方々が孤立することなく支援につながる社会の実現に向け、行政も交えた多職種で議論を重ねながら検討を進めています。

本年報が当院の一年間の歩みを振り返るとともに、地域医療のこれからを考える一助となれば幸いに存じます。今後も患者様一人ひとりに寄り添いながら、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

広報・年報編集委員会 2025年度年報編集部会長 川島 孝太

広報・年報編集委員会 年報編集部会

委員長	種村 匡弘	副病院長 兼 診療支援局長 兼 消化器外科主任部長 兼 がん治療センター長
部会長	川島 孝太	看護局副看護局長 兼 国際診療支援センター副センター長
部会員	成田 麻衣子	救命診療科部長 兼 危機管理室長
〃	出山 恭隆	薬剤部門参事
〃	須合 恵美	検査部門主査
〃	遠藤 隆之	栄養部門長
〃	西池 成章	放射線部門長 兼 放射線センター副センター長 兼 放射線治療センター副センター長
〃	岩本 匡史	臨床工学・技術部門長 兼 臨床工学・技術センター副センター長 兼 泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター
〃	貴志 悠矢	リハビリテーション部門主幹
〃	川崎 秀起	法人運営本部内部統制監 兼 内部統制課長
〃	新原 康宏	事務局長
〃	森田 征治	総務課長代理 兼 経営企画室主幹
〃	野澤 真由美	会計課契約係長
〃	本多 美咲	医療マネジメント課診療情報管理係
〃	秋吉 隆彦	地域医療連携室地域医療連携係長
〃	前田 佐和子	医療マネジメント課医事係 兼 国際診療支援センター 兼 国際医療広報センター
〃	三浦 薫	ドクターサポートセンター主任
事務局	恒松 幸汰	総務課総務係
〃	北村 ゆかり	総務課総務係